

輸入髄膜炎菌 B 群ワクチンの接種説明同意書

国内で承認されているワクチンに比べて、スケジュールや有効性の面で輸入ワクチンが推奨される場合に、輸入ワクチンをお勧めすることがあります。

ワクチン名；ベクセロ（グラクソスミス社製）

髄膜炎菌 A、C、X、Y 群の 4 種の血清型が入った国産ワクチン（メンクアッドフィ）に対して、ベクセロは髄膜炎菌 B 群の感染症を予防する輸入ワクチンです。米国の高校、大学に入学する時や寮に入る時などに要求されることがあります。髄膜炎菌 B 群に対する国産ワクチンはありません。

以前は渡航ワクチン以外に国内で使用されることは少なかったのですが、医療の進歩に伴い発作性夜間ヘモグロビン尿症、非典型溶血性尿毒症症候群、C3 腎症などの治療にソリリス、ユルトミリス、ファビハルタなど免疫の一部（補体）を抑える薬剤を使用する時や脾臓摘出後は、侵襲性髄膜炎菌感染症の予防が必要となります。最近の国内のデータからは、侵襲性髄膜炎菌感染症の 1/4 は B 群が原因です。B 群感染症を国内ワクチンで予防することはできないため、メンクアッドフィに追加してベクセロ接種が必要です。

接種方法；

髄膜炎菌感染症のリスクのない 16 歳から 23 歳の青年期および若年成人（米国の高校、大学に入学するときや寮に入る時など）

初回接種後、6 ヶ月後に 2 回目

髄膜炎菌感染症のリスクを有する（免疫の一部（補体）を抑える治療をする時や脾臓摘出後など）時

初回接種後、1 ヶ月後に 2 回目、6 ヶ月後に 3 回目

髄膜炎菌感染症のリスクが続くときには、2-3 年毎に追加接種

接種料金；35,000 円

副反応；接種部位の発赤や痛み、腫脹、倦怠感、頭痛、アレルギー反応（稀）など

注意事項；世界で使用されている非常に安全性の高いワクチンですが、国内未承認です。副反応や後遺症が生じた時は、国の救済処置や補償の適応外となりますが、輸入代行業者が提供する輸入ワクチン副作用被害補償制度の適応となる場合があります。詳細については、TSUBAMElabo のホームページ（<https://www.tsubamelabo.com>）でご確認ください。

ご不明な点がございましたら、医師や看護師にお尋ねください

ごとう内科・腎移植内科クリニック院長様

上記のように実施ワクチンの説明を受けて理解しましたので、接種に同意します。また同意書の控えを受け取りました。

年 月 日

本人署名

(印)

代諾者

(印) (本人との関係；)